

～令和5年度飛騨市公民館講座開催レポート 第5号～

【地元を知ろう！飛騨の歴史・文化巡りバスツアー】

9月16日(土)に、高山市内の博物館や文化施設を巡り飛騨の歴史と文化を学ぶ講座を開催し、39名に参加していただきました。光ミュージアムと村半(高山市若者等活動事務所)、飛騨高山まちの博物館の3カ所を巡り、各施設で学芸員に解説を聞きながら見学しました。

光ミュージアムでは、館内や飛騨地域の成り立ちについて説明を受けました。また、古生代の化石などの実物や飛騨地域にある遺跡から出土した土器・石器について解説をしていただきました。昔の飛騨の様子がわかる展示や説明を受け、学ぶことができました。



村半では、2グループに分かれて旧村田邸の造りについての説明を聞きました。明治初期に建てられた建造物とわかっており、140年以上前に建てられてからほぼそのままの姿で現在に残っています。当時から使っていた井戸がいまだに使用できることなど、建物の造りについて細部にわたって説明を受け、当時の様子を感じることができました。

飛騨高山まちの博物館には、高山の町家・城下町の成り立ちや飛騨にゆかりの深い文人・美術などそれぞれテーマごとに展示されています。そこでは、高山を金森氏が統治していた高山藩の頃と江戸幕府直轄となって以降の政治や文化などについての解説を聞きました。また、高山祭の屋台もあり、古川祭で使用されている屋台との違いや共通点も教えていただきました。

参加者からは、「近隣の高山の事だが細かいことは知らなかったので学芸員から詳しく説明してもらいとても良くわかった」や「近くにありながら初めて目にする施設や入ったことがあっても説明を受けたことがなかった場所など良い学びとなりました」「珍しいものも見れて初めて訪れる場所ばかりで大変うれしく、思い出に残る充実した一日になりました」「明治の時代に使われていた井戸が今も現役で使えるなんて！感動しました！」といった感想をいただき、満足いただけた講座となりました。

